

製品名: リン酸化JAK1 (Y1034 + Y1035) (14S9) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe05929

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,IF-P 1:50-1:100
分子量	133kDa

抗原情報

遺伝子名	JAK1
別名	JAK 1; JAK 1A; JAK 1B; JAK1; JAK1A; JAK1B; JTK3; historically have been referenced as Tyr1022 and Tyr1023 (Y1022 + Y1023);
遺伝子 ID	3716.0
SwissProt ID	P23458
免疫原	ヒト JAK1 の Tyr1022/Tyr1023 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

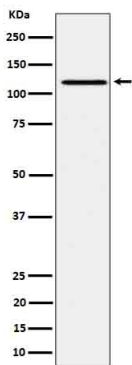
背景

非受容体型チロシンキナーゼは、IFN- $\alpha/\beta/\gamma$ シグナル経路に關与する。インターロイキン-2 受容体のキナーゼパートナーである。非受容体型チロシンキナーゼは、IFN- $\alpha/\beta/\gamma$ シグナル経路に關与する (PubMed:7615558, PubMed:28111307, PubMed:32750333, PubMed:16239216) 。インターロイキン-2 受容体 (PubMed:11909529) およびインターロイキン-10 受容体 (PubMed:12133952) のキナーゼパートナーである。STAT を直接リン酸化しますが、シグナル伝達受容体に關連する他の JAK キナーゼのトランス活性化を介して STAT シグナル伝達も活性化します (PubMed:16239216、PubMed:32750333)。

研究分野

細胞生物学

画像データ



過バナー細胞溶解物で処理した Ramos における Phospho-JAK1 (Y1034 + Y1035) 発現のウェスタンブロット分析。